

平成20年度 第1回社会福祉学教育FD/IT活用研究委員会議事概要

- I. 日 時： 平成20年8月29日（金）13時～15時
- II. 場 所： 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者： 前田委員、戸塚委員、天野委員、武田委員
井端事務局長、森下、恩田

IV. 議事概要

1. 社会福祉における学士力について

事務局から平成19年度私立大学教員の授業改善調査の報告、「教育振興基本計画」の報告、「学士力」に関して「中央教育審議会大学部会の審議野まとめ」などの報告があり、その後、委員から宿題として検討、まとめた「学士力」について2案の発表があった。（別紙参照）

2. 検討内容

委員の間で宿題として提出された2案の「学士力」を項目ごとに検討し、意見交換を実施した結果、提案の2案について、どちらも非常に的確なものであり、この2案を折衷した案を作成するという事になった。

その際のポイントとして、

- 1) 人権（特に利用者の人権問題、生存権 憲法25条）
- 2) 社会福祉士以上のソーシャルワーカーの力（企画力、ファンドレイジングなど）
- 3) 自己の発達（犠牲や奉仕ではない）の精神

といったことを強調するという意見が出された。

上記のポイントについて議論されたのち、最終的に以下の案が作成された

- 1. 人間と社会環境の視点から現代社会における生活に関わる問題の所在を理解し、改善・解決に必要な社会福祉の仕組みを説明できる。
- 2. 人権尊重の理念に基づき、利用者の権利保障、権利擁護、自立支援などを行うためのソーシャルワークに関する価値及び基本的知識、技術を身につける。
- 3. 社会福祉に関する制度・政策を批判的に分析・評価し、社会に必要な資源やサービス・プログラムを企画・開発できる基礎的な実践力を身につけることができる。

2. 今後の活動について

上記の案に関して、企業や、社会福祉の現場の意見を聞き、1 カ月以内に案を作成する。
そのうち社会福祉分野の私立大学教員（サイバーFD 研究員）にインターネットで意見を聞き 10 月までに最終案を作成する。

3. その他

次回委員会：2008 年 10 月 7 日（火）午後 1 時から

宿題：本日の会議で作成された「社会福祉分野で要求される学士力」について、
社会福祉の現場の関係者から意見徴収（20 日までに事務局に提出）